

北高 進路だより Vol.2 (通算 vol.69)

進路指導キーワード

自立

R5.6.9

下関北高校進路指導課 発行

今回は、4月に開催した「進路講話」「面接ガイダンスI」の講師の先生にご登場いただき、「面接ガイダンスI」の内容の一部をあらためてお話しいただきました。3年生は今一度思い起こして、文化祭明けの気持ちの切り替えに役立てましょう。

1 自信を持つためのコツ ～面接試験に臨むに当たって～

学校法人大原学園 大原ビジネス公務員専門学校北九州校 森 正登 先生

10年間のお付き合いです

私と下関北高校さんとの関わりは、かれこれ10年になります。これまで「進路講話」(1・2年生対象)、「面接ガイダンス」(3年生対象)の講師、さらに「職業理解/進路ガイダンス」(1・2年生対象)では公務員講座の講師を担当してきました。皆さんとは実は年に何度もお会いしています。

私が持っている貴校に対する印象は、「熱心な生徒さんが多い」ということですね。これは皆さんの先輩の方々がおられた時から変わりません。

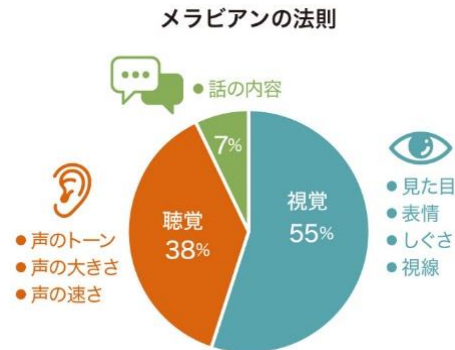
それでは以下に、4月の「面接ガイダンスI」の内容からいくつかピックアップしてあらためてお伝えしたいと思います。



「第一印象が大事」なわけ

人が他者と出会った時にその他者を知るための情報は、「話の内容:7%、聴覚:38%、視覚:55%」であるという実験結果があり、「メラビアン法則」と呼ばれています。私たちは初対面の相手の言葉よりも、態度や表情に大きく影響を受けるといわけです。

面接試験では答えの中身もさることながら、まずは態度や表情、つまり「第一印象」を大事に考える必要がありますね。



「高校時代に努力したことは何か」という質問がなされる理由

面接試験の質問項目のうち、最もよく使われるものといってもいいでしょう。その理由の一つは、受験生の長所を知るため。そしてもう一つは、今後も努力できる人かどうかを探りたいためです。面接官は、あなたの過去から未来を知ることができるといわけです。あなたも自分の経験を、自信をもって語れるようにしておきましょう。

答えが見つからない質問をされました、さあどうしますか？

ここで再び態度が大事になってきます。答えが見つからない、考えがまとまらない質問に対しては、正直になること。「すみません、よくわかりません。」と。そして、そこに前向きな態度をプラスしてください。「後でしっかり調べておきたいと思います」「時間をとって考えたいと思います」などと付け加えるのです。面接官はあなたの正直さ、そして前向きな気持ちを必ず受け止めてくれます。

では、3年生の皆さんは、6月22日(木)に「面接ガイダンスII」でまたお会いしましょう。模擬面接を行いますので、まずは「第一印象」を大事に、そしてご自身の長所をアピールできるようにしておいてください。よろしくお祈りします！

2 3年生へ 「みきわめる」意識を！

3年生の皆さんには4月に進路課から「みきわめる」意識が大事であるということをお伝えしました。「自分の進路希望は本当にこれでOKか」、「今、自分は何をすべきか」を「みきわめる」ということです。6月後半以降も期末考査、野球応援、体育祭など行事等が目白押しです。これらと受験準備を両立させるため、「みきわめる」強い気持ちを持って日々ベストを尽くしてください。

3 2・1年生へ 「職業理解ガイダンス」開催！

開催日は6月13日(火)、内容は大学・専門学校から講師を招き、様々な職業分野の解説等を分散講座方式で行うというものです。実施目的は進路選択に向けての情報収集です。臨み方についてですが、希望する分野が未定の方は「さがす」、いくつかの選択肢があってまだ迷っている方は「しぼる」ことを目標にしてください。

なお、各自の参加講座は4月に実施済みのアンケート結果と、参加校のラインナップを総合して決定されます。



昨年度 開催風景